

言葉の増やし方
習得(知識・技能)



言葉の使い方(運用)
活用(表現・言語活動)



言葉での思考の深め方
探究(活用・思考力・判断力・表現力)

(言葉での思考の深め方)

幼小中一貫教育における「言語力の育成」をめざした授業づくりのために

内容/発達段階	幼稚園	小学校(低学年)	小学校(中学年)	小学校(高学年)	中学校
めざす子どもの姿 (主体は子ども)	○自分の思いを出して友だちとかかわって遊ぶ	○気づきや感想、考えを伝え合うことができる	○根拠をもとに自分の考えを伝え合うことができる	○自分の立場を明確にし、他者の考えと比較しながら、自分の考えを伝え合うことができる	○課題について、構想を立て実践し、評価・改善することができる ○互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させることができる
具体的な子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを言葉にすることができる 友だちの話しに興味を持って聞き、共感することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気づきや感想、考えを伝え合うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠をもとに自分の考えを伝え合うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の立場に明確にすることができる 意見交流を通して、視野をひろげることができる さまざまな意見を踏まえた上で、自分の考えを深めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 考え、判断し問題解決に導くことができる
大切にしていくこと (主体は指導者)	<ul style="list-style-type: none"> 友だちとのかかわりをとらえ、それに応じた言葉かけをし、言葉を交わす喜びを味わえるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉を使って思いや考えを説明する場面を設定する 「わかい」を視点に、選択させる 「わかりやすい、かんたん、いつでもできる」 	<ul style="list-style-type: none"> 場面に対して、ふさわしい言葉を用いながら自分の考えを説明させる 言葉はおもしろいと思うこと、言葉を好きになること、よりふさわしい言葉を使おうとすることを意識する 「わかい」を視点に、考えを整理する 	<ul style="list-style-type: none"> 他者の考えと自分の考えを比較し、共通点、相違点を理解させるようにする 他者の意見をもとに自分の意見を深める、個の振り返りの時間を大事にする 「わかい」を視点に、考えを修練する 	<ul style="list-style-type: none"> まとめたり、比較したり、評価したり、言葉を用いた活動を通して思考力を深める 思考スキルを活用する(シンキングツールの活用)
幼小中の実践例 (具体的取組)	<ul style="list-style-type: none"> じゃんけんで勝ち負けを認識する 集団遊びをする中で敵や味方を認識し、友だちとの関わりをもつ 自分の思いを絵や制作物で表現し、教師や友だちを伝えることができるようになる 楽器の扱い方について相談する いい声で歌うことの大切さに気付く 絵本や物語のお話の世界を楽しみ、劇あそびをする 	<ul style="list-style-type: none"> 気づきや考え方、感想等を書く 式、絵、表を言葉で説明する 考えの理由になることをはっきりさせ、説明する イメージ化させやすい身近な題材を提示する 友だちの考えと自分の考えを比べながら聞く スピーチカードや話型を提示する 言語を動作化させる 五感を意識させたカードを使う 想像に合った言葉を使い、物語を書く グループでの発表、お互いに評価し合う、自己評価・相互評価 ペアで交流、班で交流、クラスで交流などの形態をとりながら相手にわかる説明をすることで自分の思考を整理する 	<ul style="list-style-type: none"> 3年生、4年生で学ぶ、紹介文、記録文、生活感想文、案内文、調査報告文、広告等の説明文、身のまわりのニュースなどで用途に合わせた言葉を使って文を書く 書いた分を友だちと読み合い、感想を出し合う 考えの理由になることをはっきりさせ、説明する イメージ化させやすい身近な題材を提示する 友だちの考えと自分の考えを比較しながら話し合う ミニ討論会 各教科の中でキーワードを使った学習のまとめを書き、伝え合う 場面に応じた言葉に、折にふれ直させる話し言葉と書き言葉の違いをはっきりさせる 二人で交流、班で交流、クラスで交流などの形態をとりながら相手にわかる説明をすることで自分の思考を整理する 	<ul style="list-style-type: none"> パネル討論 算数などで考え方を言葉で書く 各教科で学習のまとめや感想を継続的に書く 考えの根拠になることをはっきりさせ、説明する イメージ化させやすい身近な題材を提示する 友だちの考えと自分の考えを比較しながら話し合い、自分の考えを深める クラス交流で指名なし発表を取り入れる。自分の意見とほかの人の意見を比べながら聞き、自分の立場を明確にして相手に伝えるように意識する 作文を書く前に、イメージマップを書き、そこから書きたい事柄を選んだり膨らませたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 【国語】 2つ以上のものを比較して共通点や相違点を見つける 文学的文章において、多様な視点や観点に立って、既習事項を用いて課題問題を解決する 要旨をとらえ、自分の考えを深める 【社会】 レポート力、ノートなどのまとめ力の育成、調べ学習 自己評価する 深い探求に結びつく活用の授業を重視 【数学】 式が何を表しているかを考える なぜ答えがそうなるかを考える 考え方を何人かで相談し、説明する 考えたことをレポートにまとめる機会を多く設ける 相互評価することで、生徒同士が互いに高めあうようにする 【理科】 実験の結果を班で話し合い発表する 活用の展開：知識や技能を活用する学習活動やパフォーマンス課題を導入する 振り返り：自己評価表(ポートフォリオ評価)を導入する 【音楽】 自ら感じたことや自分なりに解釈したことを基に話し合い、他者の感じ方や解釈も参考に、より深く音楽を鑑賞する 【美術】 論じ合い、感受性を高める鑑賞活動 【技術・家庭】 他者の発表を聞き、自分の考えと比較して、見直し思考を深める 技術科：(個→集団→個)の学習活動の流れにより、「工夫し創造」や「読解力」を育成する 家庭科：情緒・完成を磨く言語活動 【保健体育】 計画表を作成する 演技(動き)を言葉で表現しレポートを作成する 自己評価⇄相互評価 発表(説明)→振り返り 【英語】 学習した表現や文法を使い、テーマに沿った自分の考えを英語で発表する 英文を読むことによって、異文化に関する理解を深める 自己評価・相互評価の導入
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> 言葉に対する感覚を養い、状況に応じた適切な言葉の表現を使うことができるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの考えを書くようになってきた 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの文章の中から学んだ言葉を探したり、接続詞の多用が減ってきて、適切な接続詞も増えてきた 	<ul style="list-style-type: none"> 書く意欲が高まり、自分の考えを整理し、深めることにつながっている 事実(学習内容)と自分の考えを分けて、わかりやすく書けるようになった 理由を付けて自分の考えを書けるようになった 抽象的な内容ではなく、具体的に書けるようになってきた 	<ul style="list-style-type: none"> 文章や図表、現象などを理解・評価しながら捉える力や自分の考えをまとめる力を育成する 自分なりに課題を発見、自らの課題を解決していく態度と能力を育成する